

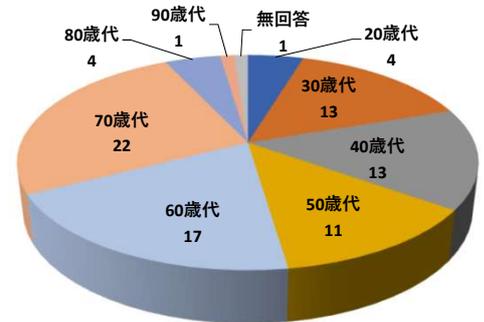
## 市民アンケート集計結果

アンケート名	「障害者福祉」について
実施期間	令和2年11月26日～令和2年12月25日
回答者数	86人

※調査結果の構成比は、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

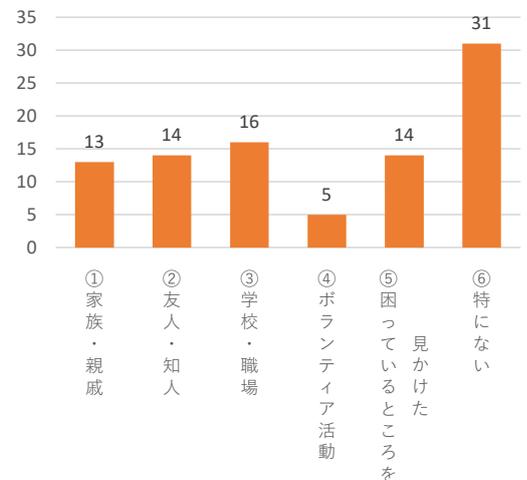
### 回答者数年齢別内訳

年齢層	人数	構成比 (%)
20歳代	4	4.7
30歳代	13	15.1
40歳代	13	15.1
50歳代	11	12.8
60歳代	17	19.8
70歳代	22	25.6
80歳代	4	4.7
90歳代	1	1.2
無回答	1	1.2
合計	86	—



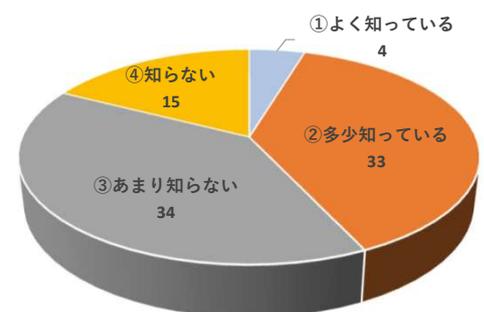
### Q1. 障害のある人と普段どのような関わりがありますか

回答	回答数	構成比 (%)
①家族・親戚	13	14.0
②友人・知人	14	15.1
③学校・職場	16	17.2
④ボランティア活動	5	5.4
⑤困っているところを見かけた	14	15.1
⑥特にない	31	33.3
合計	93	—



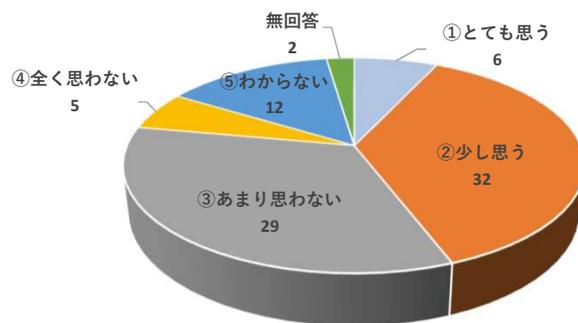
### Q2. 周南市の障害者福祉に関する取り組みを知っていますか

選択肢	回答数	構成比 (%)
①よく知っている	4	4.7
②多少知っている	33	38.4
③あまり知らない	34	39.5
④知らない	15	17.4
合計	86	—



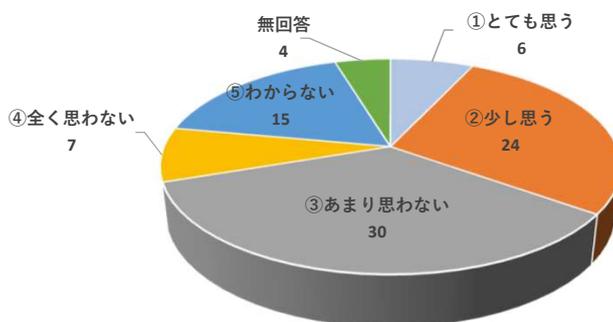
**Q3. 障害のある人と関わる活動に参加してみたいと思いますか**  
手話通訳として

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	6	7.0
②少し思う	32	37.2
③あまり思わない	29	33.7
④全く思わない	5	5.8
⑤わからない	12	14.0
無回答	2	2.3
合計	86	—



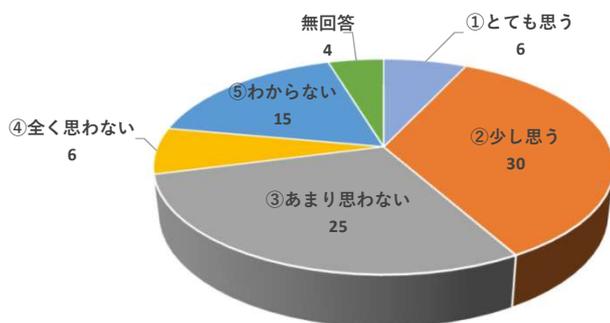
要約筆記として

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	6	7.0
②少し思う	24	27.9
③あまり思わない	30	34.9
④全く思わない	7	8.1
⑤わからない	15	17.4
無回答	4	4.7
合計	86	—



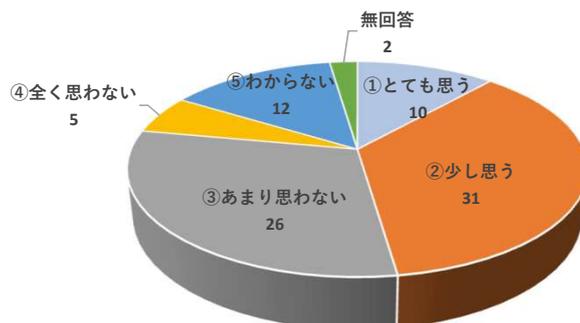
点訳・朗読として

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	6	7.0
②少し思う	30	34.9
③あまり思わない	25	29.1
④全く思わない	6	7.0
⑤わからない	15	17.4
無回答	4	4.7
合計	86	—



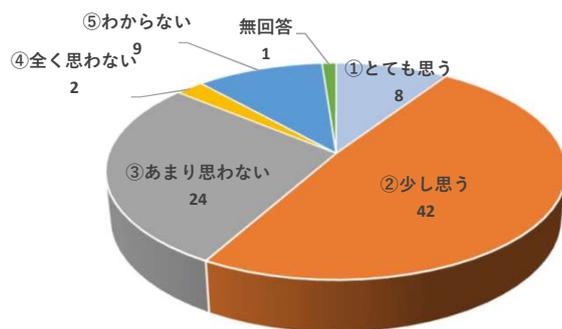
ガイドヘルプとして

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	10	11.6
②少し思う	31	36.0
③あまり思わない	26	30.2
④全く思わない	5	5.8
⑤わからない	12	14.0
無回答	2	2.3
合計	86	—



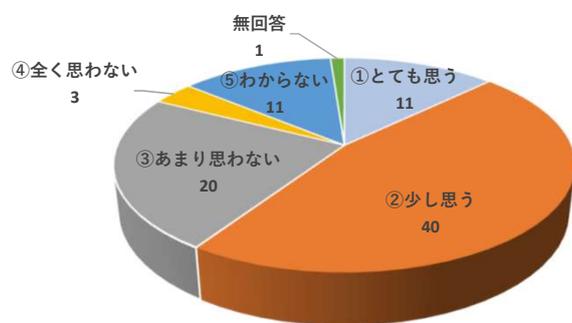
社会福祉施設などでのボランティアとして

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	8	9.3
②少し思う	42	48.8
③あまり思わない	24	27.9
④全く思わない	2	2.3
⑤わからない	9	10.5
無回答	1	1.2
合計	86	—



市主催のイベントなどで

選択肢	回答数	構成比 (%)
①とても思う	11	12.8
②少し思う	40	46.5
③あまり思わない	20	23.3
④全く思わない	3	3.5
⑤わからない	11	12.8
無回答	1	1.2
合計	86	—

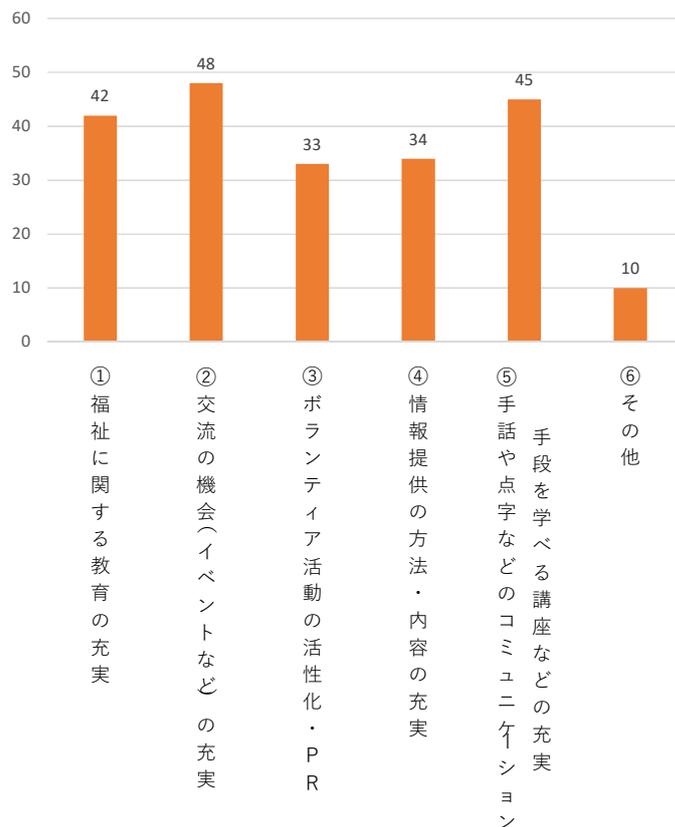


Q4. 今後、手話を使用しやすい環境づくりのために地域でできることは何だと思えますか

- ・ケーブルテレビで、簡単なものを少しずつなら覚えられるかも。
- ・手話を含め、障害を持つ方と共に暮らしていくために知っておくべきことを学ぶ機会を増やすこと。小さな学習会など。
- ・やはり、子ども（小学生）の時に手話に触れることが大切だと思います。健常者と障害者の垣根を感じる前の、子どもらしい興味本位からの手話との触れ合いを小さい時に経験することで、手話を自分の身近なものと感じられると思います。そういう経験をした人が増えることで、地域の中で手話を使うことが当たり前の環境になっていくのだと思います。温かい福祉の心を長い年月をかけて育てていければ、みんなに優しい社会になると思います。
- ・あいさつ、ありがとうなど簡単な手話は誰でもできるような世の中になったらよい。それを子供のうちに学校で教えたりしたらよいと思います。
- ・手話で会話できる場（交流会など）の整備。 など

Q5. 障害のある人とない人がお互いに理解し合うために重要だと思うことを教えてください※複数回答可

選択肢	回答数
①福祉に関する教育の充実	42
②交流の機会（イベントなど）の充実	48
③ボランティア活動の活性化・PR	33
④情報提供の方法・内容の充実	34
⑤手話や点字などのコミュニケーション手段を学べる講座などの充実	45
⑥その他	10
合計	212



その他

- ・点字指導員をしておりますが、近年点訳者の高齢化などもあり、広く講座開催してボランティアの点訳者が増えると嬉しいです。手話通訳講座もより増えると助かります。
- ・交流は難しいところもあるが続けていける方法を検討したいと思う。
- ・会食やスポーツイベント等、気軽に参加できる交流会があればいいのでは。
- ・健常者と区別せずに普通に接する気持ち。
- ・障がい者福祉の問題や課題を明確にするため、当事者・関係者・地域住民に対する情報収集（アンケートや意見投稿箱等）の機会と意見検討の場が必要だと思います。 など

ご協力ありがとうございました。